

サポート資源提供システム 2007年度事業計画・予算

2007年4月1日～2008年3月31日

サポート資源提供システム 事務局

特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

「サポート資源提供システム」は、本格運用6年目、「地域貢献サポートファンドみんな(みんなみんなファンド)」は、運用5年目に突入する。年間約1000万円規模の資源・資金の仲介・提供を実現している地域ファンドはまだまだ少ないことを思えば、この5年の成果は大きなものであると言える。また、昨年度は、約7500坪の土地の寄贈の仲介を成功させたが、今後もこのような寄贈の可能性を広くアピールをしていきたい。

一方、システム自体は安定的に運用が可能になったが、事務局費用の確保や寄付者の開発については、まだ大きな課題が残っているのが現状である。そのため、今年度からは新たな取り組みを進めていきたい。

一つは、昨年に引き続き、地元企業のCSRへの取り組み支援として、セミナー等の開催を、ダイバーシティ研究所、日本財団Canpanグループ、IIHOEと提携して進めたい。そのことで地元企業に対する働きかけの強化を図り、一緒にファンドを運営していく企業仲間の拡大を図る。またせんだいCARESへの誘導も働きかけて行く。

また昨年度からの懸案である、せんだい・みやぎNPOセンターのHPの改修と連動してのNPO情報ライブラリーの改修は、マイクロソフト社の助成金を申請して、地域公益ポータルサイトとしての運用を目指しているが、助成金が落選の場合も、日本財団のCanpanサイトの地域公益ポータルサイト支援事業と連動して、そのモデル事業として、サイトのリニューアルを図る。

また昨年末および年頭に実施した企業の社会貢献担当者・経営者交流会も好評だったので、今後も日常的な交流と懇親を図り、本事業の推進に結び付けたい。

[資源提供目標]

・システム協賛企業・団体	12社
・システム提携企業・団体	10社
・提供資金	900万円
・提供パソコン(中古PC)	30台
・提供物品(中古オフィス備品)	随時

[事 業]

運営委員会 5 / 2 3、年度内にあと1 ~ 2 回程度開催
 セミナー等 企業対象のCSRセミナーの開催
 情報発信 NPO情報ライブラリーのWebデータベース整備と運用

[事務局組織体制]

- ・全体責任者 / 加藤哲夫
- ・全体副責任者・企業コミュニケーション担当 / 紅邑晶子 (A)
- ・「資金」担当者 / 加藤哲夫 (B)、小松敏成 (C)
- ・「物品 (中古オフィス備品)」担当者 / 青木ユカリ (D)
- ・「パソコン等 (中古PC)」担当者 / 遠藤智栄 (E)
- ・担当理事 / 大滝精一、加藤哲夫、川村志厚、木村正樹、針生英一、紅邑晶子

[年 間 予 算]

収入の部

システム協賛金：	10社 × 5万円 + 2社 × 10万円 = 70万円
事業収入A：セミナー、シンポジウム等	5万円
事業収入B：手数料収入等	150万円
負担金：せんだい・みやぎNPOセンター	200万円
<hr/>	
合 計：	425万円

支出の部

人件費： A × 1/10 + B × 1/20 + C × 1 + D × 1/5 + E × 1/5	= 306万円
管理費：社会保険料等	37万円
家賃、光熱費等 1 / 10	24万円
事業費：会場費	5万円
講師謝金・交通費等	10万円
運搬費	5万円
支払い手数料	2万円
事務局費：消耗品費	10万円
通信費	20万円
予備費：	6万円
<hr/>	
合 計：	425万円